

会 議 録

平成 28 年 4 月 28 日調製

審議会等名	平成 27 年度 第 4 回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成 28 年 3 月 22 日 (火) 午後 7 時～ 9 時		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 小林 斉子委員 (議長) (13人) 高橋 邦彦委員 本田 寿之委員 村田 洋子委員 倉品 章委員 阿久津文雄委員 鈴木千佳子委員 土屋 文舟委員 高橋 清委員 米山 文子委員 橘 孫三郎委員 石原 房子委員 佐藤 英夫委員		
	職員 長谷川生涯学習課長兼中央公民館長 (7人) 金子生涯学習課長補佐兼三条東公民館長兼下田公民館長 北浦図書館副館長兼歴史民俗産業資料館副館長 羽賀諸橋轍次記念館長 坂井嵐南公民館長兼栄公民館長 阿部生涯学習推進係長 鈴木 (智) 主任		
報告事項	体育文化センター及び総合体育館改築検討委員会について		
議 題	(1) 平成 28 年度生涯学習関連事業計画 (案) について		
	(2) 平成 28 年度社会教育団体等補助金について		
	(3) 今後の公民館の在り方について		
	(4) その他		
会議内容	別紙のとおり		

小林議長	<p>これより、平成 27 年度第 4 回三条市教育委員会議及び公民館運営審議会を開催いたします。本日、2 名欠席のほか皆様お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>それでは、初めに長谷川生涯学習課長から御挨拶をお願いいたします。</p>
長谷川生涯学習課長	<p><課長挨拶></p>
小林議長	<p>それでは、議題に入ります前に、報告事項「体育文化センター及び総合体育館改築検討委員会について」であります。</p> <p>先の 1 月 19 日の第 3 回社会教育委員会議及び公民館運営審議会において、新しく建設される複合施設について皆様から御意見を伺いました。そして、当委員会の総意として意見集約し、提出したところです。第 2 回、第 3 回の検討委員会において、中間報告として取りまとめましたので事務局から説明をお願いします。</p>
阿部係長	<p><資料No.1 「複合施設の機能検討における団体意見集約シート」について説明></p>
小林議長	<p>検討委員会もまだ中間報告の段階であり、正式決定ではございません。</p> <p>ここで意見集約したものは、総意として検討委員会に提出しましたので御確認をお願いします。</p> <p>それでは、議題に入ります。平成 28 年度生涯学習関連事業計画（案）についてでございます。事務局から説明をお願いします。</p>
阿部係長	<p><「平成 28 年度生涯学習重点課題」「平成 28 年度循環型生涯学習推進事業『きっかけの 1 歩事業』」について説明></p>
金子課長補佐	<p><「平成 28 年度図書館栄分館活性化事業」について説明></p>
長谷川生涯学習課長	<p><「平成 28 年度文化・芸術の一番星育成事業」について説明></p>
金子課長補佐	<p><「平成 28 年度楽音祭事業」について説明></p>
長谷川生涯学習課長	<p><「平成 28 年度下田郷の歴史遺産再発見事業」について説明></p> <p><「平成 28 年度歴史の道 八十里越保存・活用事業」について説明></p> <p><「平成 28 年度『諸橋博士漢学の里』活性化事業」について説明></p>

小林議長	<p>それでは、平成 28 年度生涯学習重点課題について御質問はありませんでしょうか。</p>
村田委員	<p>第 2 次生涯学習推進計画に基づく事業の展開の中で、4 つの視点を大事にして、そしてそこから見た展開があったと思います。重点施策とその 4 つの視点のつながりが理解できないので説明をお願いします。</p>
小林議長	<p>今の質問は重点施策についての質問でしたが、第 2 次三条市生涯学習推進計画の 4 つの視点とこの重点施策がどのように関わるのか、という質問であると思いますので説明をお願いします。</p>
長谷川生涯学習課長	<p>4 つの視点については、皆様に以前御説明をさせていただきましたが、来年度、4 つの視点の 1 つとして「元気づくり」としましては、平成 28 年度の重点施策「きっかけの 1 歩事業」を更に拡充して実施をさせていただきたいと考えております。</p> <p>特に、高齢者の方々が自宅に閉じこもらずに外に出て健康で人生を楽しんでいただくことによって健やかな生活を営むことができるというふうに考えております。</p> <p>そのほかにも 4 つの視点としては、自分づくり、地域づくり、すそ野づくりという視点があるわけですが、例えば、楽音祭であれば中浦にあるヒメサユリ森林公園で開催するに当たり、様々な形で中浦自治会と連携をさせていただいていることから「地域づくり」の視点を持っているということが分かります。一方で、重点施策の下田郷の歴史遺産再発見事業が、策定した第 2 次三条市生涯学習推進計画紙面上に明確に記載されているというわけではありません。よって、それぞれの重点施策は私どもが作成した計画、いわゆる羅針盤の中でその方向に沿ったものであるというふうに考えておりますので御理解をお願いしたいと思います。</p>
村田委員	<p>平成 28 年度の生涯学習課や公民館が行う事業などが 4 つの視点に結びついて、展開されていくものだということがよく分かりました。</p>
小林議長	<p>4 つの視点が様々な事業のどこでつながっているのかという質問です。先ほどの中浦の楽音祭では、地域づくりの部分と重なっていてそれが地域の発展とつながっているという説明がありました。以前なぜ下田とまちなかだけなのかという質問があったときに、三条市総合計画では、まずは、下田地域とまちなかを重点的に活性化させるんだという説明をしていただいて、今、下田に焦点を当てた事業が展開されていることは、皆さん理解されたと思うんですが、例えば、しかけ絵本について、4 つの視点のどれとリンクするのかについては明確なお答えが出ますでしょうか。村田さんがおっしゃったのは、しかけ絵本を重点施策としてこれだけ力を注ぐなら</p>

	<p>ば、はっきりとどの視点であるかリンクさせて、効果も含めて見えるものにしなければならないのではないかと御指摘であると思います。しか け絵本がどれに当てはまるのか説明をお願いします。</p>
金子課長補佐	<p>しかけ絵本の関係ですが、図書館栄分館の活性化という部分ですので、子どもたちが栄分館へ来て、交流し、そして三条市全体を元気にしていくということで「元気づくり」の視点に位置付けています。</p> <p>また、文化・芸術の一番星事業については、子どもたちの才能を伸ばしていこうということで「自分づくり」の視点を持っていると考えておりますので御理解をお願いします。</p>
小林議長	<p>全ての公民館事業等が計画に合致しているという話ではなくて、ちょっとでもいずれかの視点が当てはまっていればよいという印象を受けるのですが、少し説明としては弱いのかなと感じます。</p>
長谷川生涯学習課長	<p>委員の皆様へ配付した資料には4つの視点が入っています。例えば、下田であれば諸橋轍次記念館の漢字検定は、個々の漢字の能力を伸ばすという面では「自分づくり」の視点であり、</p> <p>また、諸橋轍次記念館に来てもらうという面では「地域づくり」の視点も持ち合わせているというふうに考えております。そういったものが複合的に関わっておりますので、この事業はこの視点だけだ、というものではないということを御理解いただきたいと思います。</p>
高橋（邦）委員	<p>この会議で生涯学習関連事業計画（案）及び生涯学習課重点施策というものについて、私たちは何か意思表示をするのですか。それとも説明を伺うだけということなのでしょうか。ここで了承すると計画（案）の（案）が削除される、そういう位置付けの会議なのでしょうか。</p>
長谷川生涯学習課長	<p>生涯学習関連事業計画（案）という形で提案しておりますものは、3月市議会常任委員会において説明をさせていただいております。来年度はこういう方向感の中で実施をさせていただきます、ということを説明させていただいております。その中で各委員から、この事業はこういった視点で、こういった配慮が必要ではないかという御意見を伺いたいと思っております。</p>
佐藤委員	<p>4ページのきっかけの1歩事業について伺います。平成28年度は2.5ステージへ誘導するという記載がありますが、具体的な数値目標値を持っておられるのでしょうか。</p>
阿部係長	<p>「聖域なき」というところについては、我々公民館であれば、趣味とい</p>

	<p>うところを増やしていけばいいということだけではなく、就労であったり、ボランティアであったりと幅広く、きっかけの1歩事業等を通じて外出した人、社会参画活動の意欲のある人が次の活動につながるよう人材の掘り起こしを図っていきたいと考えています。公民館としての数値目標としては、例えば、ボランティア活動につなげるという視点では、各公民館10人程度、計90人の新しいボランティア登録者が誕生するように声掛けをしていきたいと考えております。</p>
小林議長	<p>きっかけの1歩事業の参加者をボランティア活動に結び付けるのが目標値ということですか。</p>
阿部係長	<p>それだけではありませんが、様々な社会参画活動の場、活躍の場としてボランティア活動があり、その1つの目安、指標の1つと考えています。</p>
高橋（邦）委員	<p>生涯学習の基本方針と公民館運営計画が、できれば一緒になった方が分かりやすいと思います。基本方針で全体的なものを述べられていますが、ややローカルなところがある気がします。その説明をいただくときに特に重点施策はこうなる、という説明をしていただけると分りやすくなると思います。私自身は下田郷に魅力があるという御説明を議長さんからいただいたので、全くそのとおりだと思います。</p> <p>下田郷のほかにも各地区から社会教育委員がおられるので、この具体的なところもとても気になると思います。そういうところを説明する場を別に設けていただけるといいと思います。</p>
長谷川生涯学習課長	<p>高橋（邦）委員から御指摘をいただきましたが、今後、そのような資料づくりを検討していきたいと思います。</p>
小林議長	<p>大変貴重な御意見をいただきましたので、今後にかしてください。</p>
村田委員	<p>先ほど目標値というお話がありましたが、平成27年度事業の評価をされているからこそ、来年度の事業計画がこれだけのものができていると思います。そこで、その年度当初に設定した目標値や指標について結果がどうであったのかという実績成果を示していただけるととても分かりやすい気がします。</p>
長谷川生涯学習課長	<p>第2次三条市生涯学習推進計画を策定させていただいたときには、指標という部分が大事だということを申し上げてきました。指標について今後8年間の計画の中で、総合計画の中では目標値が出ているわけですが、目標値を定めるというのは非常に難しいところではありますが、まずは、きっかけの1歩事業を踏み台として、いろんなデータが出ておりますので、</p>

<p>小林議長</p>	<p>そこから判断基準となる指標をしっかり作っていかねばならないと思っております。</p> <p>それと関連しますが、図書館栄分館の活性化事業では平成 26 年度はここまでやりました。そして、平成 27 年度を経て平成 28 年度はここまでを目指します、と書いてあるわけです。こういうふうに目標値を示した書き方をしてあれば分かりやすいと思います。事業全てそういう比較対象があると、どこまで進んで次のステップとして 28 年度どこまでを目指す、というふうなとらえ方ができますので是非とも御検討ください。</p>
<p>橘委員</p>	<p>非常に良くできた施策であると思います。この事業にたまたま私は行ったことがなかったのですが、重点施策に下田の事業がかなり入っております、ほかの地域の方がうらやむんじゃないかと思うほどですが、実はこういったこと自体私にとっては、歴史遺産や大谷地のコギモンにしる、知らなかったことがたくさんあります。私が知らないということはおそらく下田の地域の人知らない方が多いと思います。いしぶみもそうです。子どもの頃からいしぶみがそこにあることは分かるのですが、それが何を意味するのか全く理解しておりませんでした。せっかくこれから重点的に進めていきたいとおっしゃるんでしたら、小中学生が興味を持つようないい方法を取り入れていただければと思います。</p> <p>漢学の里もそうです。下田の人なら誰でも一度は行ってみたいと思います。しかし、もう一度行こうか、という気になるかというと、どうしてもならない。そこへいろんなイベントを絡めた施策などもあるとまた、興味を持って行ってみようと思うのでないかと思います。</p>
<p>小林議長</p>	<p>下田関連の事業実施につきましては、下田の人たちの意見を聴きながら、地域資源がありますので、それを十分に活用して事業を展開していただきたいと思います。</p> <p>それでは、次に図書館、歴史民俗産業資料館、諸橋轍次記念館の順で説明をお願いします。</p>
<p>北浦図書館副館長</p>	<p><資料No.2「平成 28 年度三条市立図書館 運営計画」について説明></p> <p><資料No.2「平成 28 年度三条市歴史民俗産業資料館運営計画」について説明></p>
<p>羽賀諸橋轍次記念館長</p>	<p><資料No.2「平成 28 年度諸橋轍次記念館運営計画」について説明></p>
<p>小林議長</p>	<p>図書館、歴史民俗産業資料館、諸橋轍次記念館の運営計画について説明</p>

<p>米山委員</p>	<p>していただきました。御意見のある方は御発言ください。</p> <p>栄地区に住んでおりますので、図書館栄分館のしかけ絵本について発言させていただきます。すぐ隣がすまいるランドですので、小さいお子さんが中心の施設と思われがちですが、しかけ絵本は大人が見てもけっこう楽しいものですので、まだ見たことがない方はぜひ見ていただきたいと思います。</p> <p>もう1つ諸橋轍次記念館について、やはり地元の財産なので、橋委員がおっしゃるように、小学生や中学生を視野に入れることがまず大事だと思います。今漢文学というのは身近なものとはいえないのですが、研究している方もいるわけですから、どういうところに発信していくかということが課題だと思います。例えば、重点施策の16ページを見ますと、検討事項の3、書道部学生合宿の企画提案や4のA D E A C（アデアック）システムを活用した情報発信、特に4は新潟県どころか、全国、全世界に向けてということになると思います。そのあたりを視野に入れていくことによって、いかに漢字に興味のある人を呼び込めるかということが来館者の増加にもつながっていくのではないかという気がしました。</p>
<p>羽賀諸橋轍次記念館長</p>	<p>映像化資料は既にあります。なぜそれを発信しないかといいますと、1つは所有権の問題があります。ようやく諸橋家が三条市に寄贈するという形になり、4月以降に契約することになっています。今年度の重点目標でそういう資料等を全て映像化することとしており、承諾さえあればできる状況になっております。</p>
<p>土屋委員</p>	<p>お話を聞いておりますと、至る所でボランティアの方が活躍されているということですが、ボランティアの方々の募集の状況、応募の状況が分からないのですが、代表的なものを教えてください。</p>
<p>小林議長</p>	<p>図書館のボランティアの説明をしていただけますか。</p>
<p>北浦図書館副館長</p>	<p>図書館本館で90人、読み聞かせのボランティアで38人、これはボランティアの人数というよりは参加の人数ということです。ボランティアの人数というのは統計を取っておりませんので、基本的に参加人数ということになります。募集については、館内ポスターの掲示やホームページで募集をしています。図書館のボランティアといいますと、まず本の修理、そして本棚への本の返却、そして読み聞かせがあります。参加される方も得意不得意がありますが、先ずは体験をしていただくことによって、自分でもできるという自信を持っていただき、次のボランティア活動につながるようにできればと考えています</p>

小林議長	<p>図書館ですから、本の修理や読み聞かせをすぐ明日からしてもらうわけにはいかないものもあるのですが、応募された方が常に気持ちよくボランティア活動ができるように、手を挙げた方がなるべくその仕事につけるように工夫をしていただければと思います。</p> <p>もう1つ、ステージえんがわが3月26日オープンするというので、注目されていると思いますが、そこで地域との連携を図る事業として、雑誌オーナー事業の推進、どこでも図書館事業の推進ということが書いてあります。この2つの部分でおそらく貸出はできないと思いますが、ステージえんがわに書架を置いて、雑誌程度になると思いますが、本を置くことは可能ですか。</p>
北浦図書館副館長	可能というよりは、積極的に前向きに考えております。
小林議長	今のところ担当課からそういう提案はないのですか。
北浦図書館副館長	イベントに参加してもらえないかという要請はございます。
小林議長	常時まちなか図書館を開設するというような要請はありませんか。
北浦図書館副館長	今のところございません。
小林議長	それでは、次に「(2)平成28年度社会教育団体等補助金について」であります。事務局から説明をお願いします。
阿部係長	<No.3 「平成28年度社会教育団体等補助金」について説明>
小林議長	<p>社会教育法第13条では、「地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない。」と規定されているため、ここに諮られたものです。文化団体活動支援補助金74万4千円。その内訳が、三条市文化団体協会補助金69万4千円、ジュニア合唱団育成補助金5万円ということでありますが、委員の御意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。</p>
高橋（清）委員	この補助金は毎年同じ金額でしょうか。
金子課長補佐	平成27年度と同じでございます。
高橋（清）委員	<p>頂いた資料は今年度のものですが、過去に遡って資料があるとよいと思います。例えば、減ったとすると減った理由が何かとか、増えた理由は何かとか分かる記載があるとよいと思います。</p>

小林議長	この金額については、平成 27 年度しか分からないですか。
金子課長補佐	文化団体協会補助金については、平成 17 年度合併当初から変わっておりません。ジュニア合唱団育成補助金については、平成 26 年度から 5 万円となっております。
小林議長	文化団体協会は、この補助金をどのような事業に活用されているか御存知でしょうか。分かる範囲で結構です。
金子課長補佐	文化団体協会の事業運営や、各構成団体、三条、栄、下田地区に活動資金で幾らか使われております。詳しいところについては定かではありません。
小林議長	全体の予算は幾らですか。
金子課長補佐	三条市文化団体協会としては約 180 万円です。そのほかに各支部で活動しておりますが、支部の方はこちらでは把握しておりません。
村田委員	加盟団体は何団体ですか。
阿部係長	平成 27 年 4 月 25 日現在で 51 団体です。
金子課長補佐	三条支部で 51 団体、栄支部で 17 団体、下田支部で 18 団体でございます。
小林議長	文化団体協会への加盟費は 1 団体幾らですか。
金子課長補佐	年間 1,500 円です。
米山委員	文化団体とは何となく絵や、書の団体と考えますが、そのほかに何かありますか。ちょうど最近栄神楽を聴きに行ったものですから、そういう団体も加盟団体になっているのでしょうか。
阿部係長	洋画、紙人形、百人一首、詩吟、レクダンス、社交ダンス、折り紙等です。
長谷川生涯学習課長	先ほどの神楽については、文化財の方の団体となります。
小林議長	それでは皆さんにお聞きします。平成 28 年度社会教育団体等補助金について、御異議ありませんでしょうか。

小林議長	<p><「異議なし」の声あり></p> <p>それでは次に進めさせていただきます。「(3) 今後の公民館の在り方について」であります。説明をお願いします。</p>
阿部係長	<p><当日配布資料No.2について説明></p>
小林議長	<p>1月19日のこの会議で公民館の在り方について皆さんから御意見をいただきました。その振り返りが本日配付した資料です。ハードの面は公共施設等の再配置計画が今後、発表される予定とのことです。発表されましたら皆様にお示しをしてハードの面について御意見を伺うことになると思いますが、今日はこの振り返りを見ながら、「こんな公民館だったら」という思いが皆さんもあると思いますので、そういう視点の中で御意見をいただければと思います。</p>
佐藤委員	<p>公民館の在り方ということですがけれども、現在の公民館をとらえてのことでしょうか。地区公民館の1つは指定管理を導入していますけれども、そういう視点もこの在り方に含まれるのでしょうか。</p>
長谷川生涯学習課長	<p>今現在の公民館の在り方について、公民館はもっとどうあるべきかという方向性について議論していただきたいと思います。公共施設の再配置計画については、今後、発表になると思いますので、その内容を把握した中で総合的な見地で検討していただきたいと思っております。</p>
小林議長	<p>今後、再配置計画が発表になると思いますので、課長が言われたとおり、総合的なものの中に今佐藤委員がおっしゃったことも入ると思います。</p>
鈴木委員	<p>勤めているとなかなか利用する時間ありませんが、ある程度年齢が上になってきて時間ができてきたときに、今までの経験をいかして教える側になる人もいるでしょうし、逆に今まで学んだことのないものを学びに行く人もいます。ちょっと勉強したいというときに、図書館へ行けば一番いいんでしょうけど、近くの公民館で勉強するとか、気軽に行ける場所提供というのもやるといいと思います。私も講座に幾つか参加していますが、夜の講座だとお勤めしている方もかなり参加されるんです。ただそれは公民館が主導でやっただから参加できるんです。3年経つとそれがサークル化して、自分たちでやる地域コミュニティに移っていくわけですがけれども、夜だけ仕事の合間にやっとなら講座に通っていた人たちが3年でサークル化されてしまうと、ぱったり行けなくなってしまうんです。3年ではなく、もう少し長くサポートしてもらえたらという声を近頃よく聞きます。逆にたくさん集まっているものについては、3年未満でもサークル化して</p>

小林議長	<p>もいいと思いますし、その辺はもっと柔軟に対応していただければと思います。</p> <p>画一的に3年で切らないで、というお話ですね。</p>
鈴木委員	<p>おそらくお勤めしている人が公民館に足を向けるには、3年以上のサポートが必要かと思います。</p>
高橋（清）委員	<p>私は大島地区でございまして、公民館の利用者の報告を毎年聞いていますが、大島地区は少ないです。参加される方の職業とか、大島地区は農業が主体ですので、年を取っても仕事をバリバリやられている方が多いので、なかなか余暇の時間が取れない方が多い土地柄です。中心市街地ですと退職されて時間がある方が公民館活動に参加しているのではないかと思います。以前誰かがおっしゃっていたと思いますが、例えば公民館だから商売とか営業活動はやってはいけないといいますが、マルシェのように地元の野菜を売ったりだとか、基本的には良くないのでしょうか。イベントで一杯飲めるような企画ができれば、それはそれで面白そうだと思うんですけども。いろんな年齢層の方が参加されると思います。</p>
小林議長	<p>きっかけの1歩事業で、今までの公民館事業の既製概念とは随分進歩した事業が展開されているわけですが、今高橋（清）委員が言われた物を売ってはいけないというところはどうですか。</p>
長谷川生涯学習課長	<p>実は、本成寺公民館のきっかけの1歩事業で朝市をやらせていただきまして、逆に月曜日に朝市をやってはダメだと。高齢者は土日に家族から店に連れて行ってもらって買い物をするんだから、やるのなら週末にしなさいと教えられました。我々主催のものについては、販売も行っているところです。お酒については、昨年、12月23日に開催した中央公民館のクリスマスイベント「まちなか雪と灯りのコンチェルト」で、日本酒地酒講座の試飲を行いました。社会教育法の下、様々な規制はありますが、「あれもだめ、これもできない」という視点ではなく、「どうやったらできるか、どこまでならできるのか」ということを常に考えるようにしているところがあります。</p>
倉品委員	<p>前回、稼働率が問題になりましたけれども、それをよくまとめていただきましたが、特に9番の『稼働率、教育色』ともに拘って」というところが、書き方がしっくりこない気がしました。私もいろんな事業に参加させていただいておりましたが、なかなかユニークな催し物があって参加する人も増えていると思います。そういうプラスの評価も自信を持って出していきたいと思います。先日はふるさと映画村の原節子の映画に大勢の人</p>

	<p>が来ていました。やっぱり内容だと思います。民間のカルチャースクールでは満員になったりしているようです。あるいはまちゼミなんてのもやっているようですが、ピンポイントでテーマを設定していて、ユニークなものをしているから人が集まります。やっぱり視点を変えてみたり、民間から学んだり、そういった視野で新しい教室・講座を考えていただければと思います。</p>
本田委員	<p>若い世代という話になると、公民館事業については子育て世代は行きづらいため、親子で参加できる事業があるといいと思います。またその事業がいろいろなところでPRされて多くの市民に届くようになればもっとよくなると思います。</p>
小林議長	<p>皆さんから公民館の在り方について、前回に引き続き忌憚のない意見をいただきました。これを参考に、公民館の再配置計画が出た中でハードの面と一緒に今後の公民館の在り方の理想形に近づくように検討をしていただければと思います。</p> <p>次に「(4) その他」について事務局何かありますか。</p>
事務局	<p>ありません。</p>
小林議長	<p>それでは長時間にわたり、皆様から貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。これをもって終了いたします。</p>